

にし西

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1

TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz
毎週月曜日午前11時~

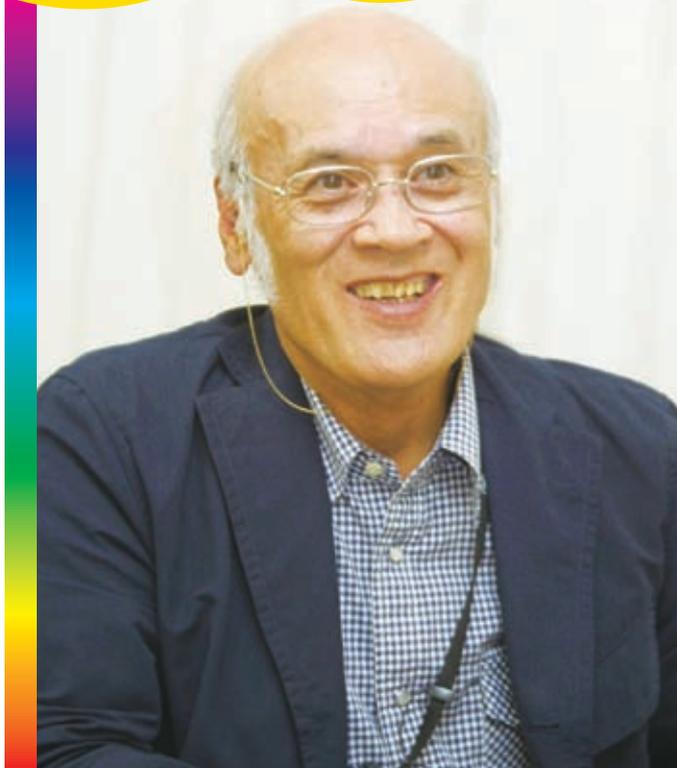
◎西区協力番組「西区まちセン最前セン」同局毎週木曜日午前11時~

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

◎区民のページ 2007・9



まちの人



ちえりあ学習ボランティア代表

やまもと かつひこ
山本 克彦さん(63)

ちえりあ学習ボランティアとは「札幌市生涯学習総合センター(ちえりあ)」(宮の沢1-1)で実施している「さっぽろ市民カレッジ」(文化・教養系)の一部の講座を企画・運営しているボランティアです。



■ちえボラの仲間と。中央が山本さん。

四月からちえりあ学習ボランティア(愛称「ちえボラ」)代表を務める西野在住の山本さんは、ちえボラを始めて四年目になります。きっかけは、会社を定年退職して自由な時間が増えたことでした。現在、ちえボラは約五十人いて「生きがい班」や「芸術班」など六班に分かれて講座の企画・運営にかかわっています。山本さんは、札幌について多方面から学ぶ「札幌学班」に今年から所属しています。「おとし」に一年がかりで家系図を作った際に、市内のいろいろな人に昔話を聞いたことから札幌に興味を持つ

「一生、勉強」そのお手伝いをしたい

「企画した講座に人が集まることがやはりうれしい」と山本さんは話します。万人受けしそうな幅広いテーマよりも、狭い分野について専門的に学ぶ講座が意外と人気だそうです。「三年後に迎えるちえりあ開設十周年には、ちえボラ全員で企画して、ホールを満員にするような大講座を開きたい」と夢を語ります。講座を企画する際は、有料であることを意識して、自分が興味あることと市民のニーズを見極めながら考えるそうです。でも自分の発想から講座開設に結び付いたものはまだないと山本さんは笑います。「みんなぞ知恵を出し合って、講座という形にしていけるのは大変だけど、楽しい。今後の課題は若い人が興味を持てる講座をつくること」と言います。また、目を引くチラシ作りや講師との交渉など、ちえボラの活動そのものも生涯学習になっていくそうです。「手近なところに学べる場所があるので、西区民にはもっともっとちえりあを利用してほしい」と語る山本さんは、生涯学習の輪が広がることを願っていました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール nishi@city.sapporo.jp、西区総務企画課広聴係(上欄)へ。